



チャレンジ
できる、
おもしろさ。

Try to challenge



和歌山県 職員募集案内 2026



和歌山県

より多くの方にチャレンジして
いただける試験になりました!

和歌山県職員採用試験の特色

1 特別な公務員対策が不要な試験を実施

4月に実施する「I種【春試験】」及び6月に実施する「社会人採用試験」は、専門試験がなく、基礎能力試験(SCOA)と面接試験、論文試験で受験できます。
※技術職と資格免許職の論文試験は令和8年度の試験から廃止となりました。

2 面接試験をより重視

最終合格決定は、筆記試験(基礎能力試験、専門試験)の成績と合計せず、面接試験と論文試験の成績により判定する「リセット方式」を採用します。(第1次試験で面接を行う試験を除きます。)

3 教養試験の代わりに基礎能力試験(SCOA)を実施(Ⅲ種事務系職種を除く)

4 専門試験の出題分野の選択が可能

6月に実施するI種【夏試験】のうち、「一般行政職」、「学校事務職」、「警察事務職」を受験する場合、「法律」、「経済」、「総合A」、「総合B」を選択できます。



科目	出題分野 ※出題分野は変更になる可能性があります	解答数
法律	憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学・財政学	40題
経済	経済原論、財政学、経済史、統計学、経済事情、経済政策、憲法・行政法・民法	40題
総合A	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、教育学、社会福祉概論、社会学概論、心理学概論	60題中 40題選択解答
総合B	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、刑法、労働法、経済学、財政学、社会政策、国際関係、数学・物理・化学	60題中 40題選択解答



5 令和8年度の試験からI種【秋試験】は大学3回生の方も受験可能(土木職、農業工学職、林学職のみ)

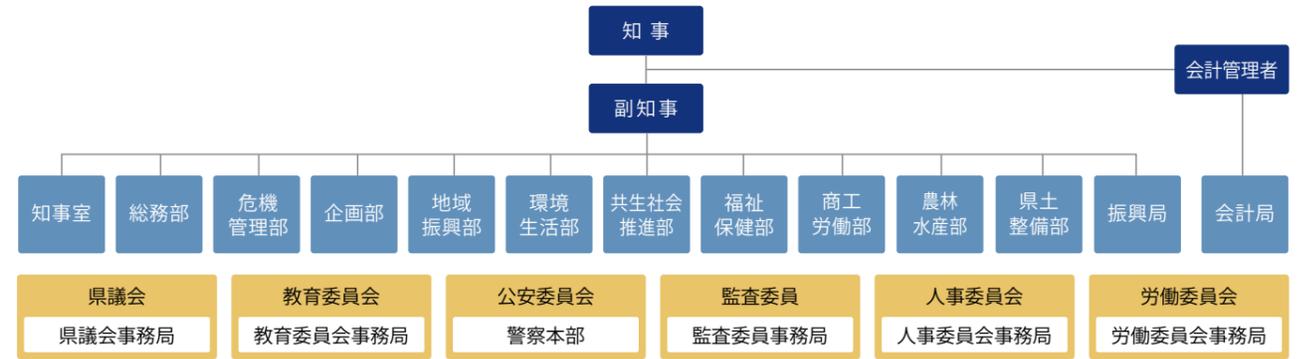
申込から採用までの流れ

試験の申込みは、「和歌山県電子申請サービス」からの申込みとなります。申込みから採用までのおおまかな流れなどは試験案内を確認してからお申込みください。

令和8年度の試験日程は、令和8年2月下旬(予定)から配布する総合案内でお知らせします。

競争試験	人事委員会					採用候補者名簿に登載	意向確認	採用(原則4月1日)
	受験申込	第1次試験	第1次試験合格発表	第2次試験	最終合格発表			
I種【春試験】 (大学卒業程度)	3月上旬～中旬	4月上旬～中旬 全国(受験者が選択するテストセンター)	4月下旬	5月中旬～下旬 和歌山市	6月上旬			
I種【夏試験】 (大学卒業程度)	4月中旬～5月中旬	6月中旬 和歌山市、田辺市、東京都	7月上旬	7月中旬～下旬(I種) 7月下旬～8月上旬(社会人) 和歌山市	8月上旬(I種) 8月下旬(社会人)			
I種【秋試験】 (大学卒業程度)	10月上旬～下旬	11月下旬 和歌山市	12月下旬	1月上旬 和歌山市	1月中旬			
Ⅲ種 (高校卒業程度)	7月下旬～8月下旬	9月下旬 和歌山市、田辺市、新宮市	10月中旬	10月下旬 和歌山市	11月中旬			

組織図と主な職種紹介



● 事務職 行政・学校・警察

さまざまな部署で業務に就き、行政全体を見る幅広い視野を養ったうえで、各自の適性を見極めていきます。

配属先

【行政職】●本庁/本庁各課、県議会事務局、教育委員会事務局、各種委員会事務局 ●地方機関/各振興局、各保健所
【学校事務】各公立学校、教育委員会事務局等
【警察事務】警察本部・各警察署等

● 農業工学職

持続可能な農業・農村を振興するため、農業に欠かすことのできない水を安定供給する農業用排水施設等の更新整備や自動化・省力化整備、農村地域の安全度向上を図るため池改修等の防災・減災対策を推進するとともに、良好な農業農村を維持するための活動支援などに取り組んでいます。

配属先

●本庁/農業農村整備課、農林水産振興課、里山里山振興室、経営支援課
●地方機関/各振興局

● 化学職

水質、大気環境の保全や廃棄物の適正処理推進など身近な分野から地球温暖化対策などグローバルな分野まで、環境に関する様々な課題の解決や快適な生活環境の維持形成に取り組んでいます。

配属先

●本庁/危機管理消防課、脱炭素政策課、循環型社会推進課、環境管理課、成長産業推進課
●地方機関/環境衛生研究センター、各保健所

● 水産職

和歌山県の水産の特性に応じた資源管理・漁場造成の推進、漁業経営の安定指導、漁場環境・水産資源の調査研究、有用な水産動植物の増養殖研究などを通じ、収益性の高い水産業づくりに取り組んでいます。

配属先

●本庁/水産振興課、資源管理課
●地方機関/各振興局(那賀・伊都を除く)、水産試験場

● 獣医師

畜産獣医師は、主に家畜伝染病等の疾病予防と家畜の健康管理や飼養管理技術の試験研究、公衆衛生獣医師は、主に食品衛生監視と検査等を通じ、食の安全・安心を提供するほか、動物愛護精神の普及啓発と正しい飼い方等の指導を行っています。

配属先

●本庁/生活衛生課、畜産課
●地方機関/動物愛護センター、各保健所、環境衛生研究センター、畜産試験場、養鶏研究所、各家畜保健衛生所

● 情報職

情報通信技術を活用することにより、県民生活の向上、行政事務の効率化、県内産業の振興、災害への対策などに取り組んでいます。情報基盤課を中心にさまざまな部署で業務に就き、行政全体を理解した情報政策の専門家として活躍していきます。

配属先

●本庁/情報基盤課、行政企画課、防災企画課、技術調査課、デジタル社会推進課、企画課(データ活用推進センター)、会計課、総務事務集中心課

● 建築職

まちづくり施策、景観施策及び住宅施策により調和のとれた地域づくりに取り組むとともに、建築確認、建築士指導及び公共施設の設計・工事監理により安全で安心な県土づくりに取り組んでいます。

配属先

●本庁/都市政策課、建築住宅課、公共建築課
●地方機関/各振興局

● 農学職

新品種育成や栽培技術の研究開発をはじめ、農家に対する生産技術や農業経営の指導、農産物の販売促進、担い手対策などを通じ、収益性の高い農業づくりを進めています。

配属先

●本庁/農林水産振興課、研究推進課、食品流通課、果樹園芸課、鳥獣対策課、経営支援課
●地方機関/各振興局、農業試験場、暖地園芸センター、果樹試験場、かき・もも研究所、うめ研究所、農林大学校、就農支援センター

● 社会福祉士

社会福祉の知識・技術をもって援助に当たる専門職として、児童福祉法や生活保護法等に基づく相談対応などあらゆる相談・指導業務や福祉施策の企画・運営を行っています。

配属先

●本庁/こども支援課、障害福祉課、長寿社会課
●地方機関/各振興局、各児童相談所、仙溪学園、DV相談支援センター、精神保健福祉センター、難病・こども保健相談支援センター

● 薬剤師

薬学の知識・技術をもって、医薬品等の品質・有効性・安全性の確保業務、食の安全確保業務、廃棄物の適正処理、医薬品等の試験・研究業務、病院での調剤・服薬指導業務など、保健衛生の向上に取り組んでいます。

配属先

●本庁/薬務課、生活衛生課、循環型社会推進課
●地方機関/各保健所、工業技術センター、こころの医療センター、環境衛生研究センター

● 土木職

道路、河川、砂防、港湾などの基盤整備(企画・設計・積算・施工管理・維持管理等)や下水道などの生活環境の整備及びまちづくりにより、安全・安心で活力ある県土づくりに取り組んでいます。

配属先

●本庁/国土整備部各課
●地方機関/各振興局、和歌山下津港湾事務所、ダム管理事務所(二川・椿山・七川)、和歌山県土砂災害啓発センター

● 電気職・機械職

県の産業を支える工業用水の供給施設の運転監視、保守管理や県民生活に必要な公共施設(県立学校・県営住宅・下水道施設)の設備に関する設計、施工監理の業務に取り組んでいます。

配属先

●本庁/公営企業課、公共建築課、管財課
●地方機関/工業用水道管理センター、ダム管理事務所(椿山・七川)(電気職のみ)

● 林学職

「木の国」の名にふさわしく、県土の約8割が森林。林業・木材産業を支える人材育成及び良質な木材生産を推進し、県土を守る森林づくりに進めています。また、紀州備長炭の振興など、豊かで魅力ある山村づくりに取り組んでいます。

配属先

●本庁/林業振興課、森林整備課
●地方機関/各振興局、林業試験場、農林大学校林業研修部

● 心理職員

心理学の知識・技術をもって援助に当たる専門職として、児童相談所や県立の医療機関等において心理判定や心理療法等の業務を行っています。

配属先

●地方機関/各児童相談所、仙溪学園、障害児者サポートセンター、こころの医療センター、精神保健福祉センター

● 保健師

家庭訪問などの地区活動をおとして住民や地域の健康課題を把握し、他職種や関係機関と連携して地域包括ケアシステム構築に取り組んでいます。

配属先

●本庁/医務課、健康推進課、長寿社会課、職員課
●地方機関/各保健所、精神保健福祉センター、難病・こども保健相談支援センター、中央児童相談所

景色が変わると視点も変わる 働く環境を整え県政の未来をひらく



一般行政職
総務部／総務管理局
行政企画課
主査
2010年度入庁

空間から変える、働き方の未来

組織のサービスの質を高めるために、それぞれの所属における業務の特性や働き方に合わせたオフィス空間づくりを推進しています。現在、庁内所属の一部を「パイロットオフィス」として位置づけ、レイアウトの見直しやペーパーレス化などのオフィス改革を進めています。このオフィス改革により職員がより効率的かつ快適に働ける環境を整えることで、職員のパフォーマンスにどれくらい効果をもたらすのかを検証しながら、将来的に全庁展開ができるよう改善を重ねています。こうしたオフィス改革は、書類や業務のデジタル化による情報の整理や共有がスムーズに進む他、職員同士のコミュニケーションの活性化、リモートワークの環境整備にもつながり、柔軟で多様な働き方が可能になるなど、単なる空間づくりではなく、組織の文化や働く人の価値観に変化をもたらす上で重要な役割を担っています。



ペーパーレスがもたらした「窓の外に広がる景色」

ある所属でオフィス改革を行った結果、所属の窓一面を覆っていた鉄製の書庫が撤去され、外の景色が見えるようになりました。そして、職員からも職場の雰囲気も明るくなり、「気持ち前向きになる」といった声をいただきました。その話を聞いて、ペーパーレスは業務効率化だけではなく、働く人の心にゆとりや豊かさをもたらすものだなと感じました。



オフィスの形を変えることは、働く人の意識を変えること

今後、私たちは職員自身の手で、庁舎全体のオフィス改革に取り組み、「紙に頼らない」、「場所に縛られない」新しい働き方をつくり上げていきたいと考えています。オフィス空間が変わることで、職員の表情や働き方が変わっていく—その変化に立ち会えることが、この仕事の一番のやりがいであり、改革を担う立場ならではの面白さだと感じています。



みんなで守り育て 未来へつなぐ和歌山の森林

林学職
農林水産部／森林林業局
森林整備課／全国育樹祭推進室
技師
2019年度入庁

紀州木の国、初の全国育樹祭

和歌山県では、令和8年に当県で初めてとなる「全国育樹祭」が開催されます。皇族殿下がご臨席されるお手入れ行事だけでなく、各種表彰等の式典行事、全国みどりの少年団活動発表大会や森林・林業・環境機械展示実演会等の併催行事も実施されます。

その中で私は主に、式典行事の企画や運営に関する業務に携わっています。前例のない行事のため、既に行なったことのある他県の職員の方との情報交換が欠かせません。また森林林業に関する内容がメインではありますが、演出やプログラム構成については、地域ならではの伝統芸能や県内学生の出演を通じて「和歌山県らしさ」を取り入れるなど、来場者の皆様にとって有意義かつ魅力あふれる式典となるよう努めています。式典行事等を通じて、和歌山県の良さはもちろん、本県の森林林業の特徴ある取り組みや、魅力を全国に発信できる良い機会になると考えています。



みんなで作り上げる大変さと楽しさ

式典行事は、庁内関係部局だけでなく、皇室関係機関や警察など様々な組織の協力のもと実施されるもので、連携が不可欠であり、それぞれ異なる専門性と視点を持つ部署や団体との調整、多岐にわたる課題解決に多くの時間と労力を要することとなります。そういった中でも、一つ一つ課題を解決しながら、関係する部局との信頼性が構築されてきており、改めて大きな行事の運営に関わる責任感ややりがい、またみんなで作り上げる喜びを感じながら業務に取り組んでいます。



和歌山県の森林を守り育て、未来へつなぐ

この仕事の一番の醍醐味は、普段の業務では経験できないスケールの大きな行事を様々な部局と協力しながら創り上げていくことです。自分たちだけではなく、様々な方とのコミュニケーションや協力があってこそ、成功へと導けるのだと実感しています。「全国育樹祭」という機会を通じて、継続して森を守り育てることの大切さを伝えていくことの意義を、1人でも多くの県民の皆様知ってもらえるよう取り組みたいと思います。

仕事を知る

現場で働く先輩にインタビュー！

※所属、役職等は取材当時のものです。

一般行政職

数字で県政を支える 財政の要

県の予算編成や決算整理などの業務に携わっています。予算編成業務は、予算要求内容についてヒアリングを行い、各事業の必要性、有効性、積算の妥当性などを予算要求部局と共に整理していきます。限られた期間内に複数の案件を同時進行で調整しなければならない大変さがありますが、様々な部署の政策について協議することで、多様な知識や価値観に触れ、自身の視野を広げられることに魅力を感じています。



総務部／総務管理局／財政課
副主査
2017年度入庁

情報職

システム環境を整備し 技術で支える

職員が利用する各種システムや、県庁内の多岐にわたるネットワークの運用・設計を担当しています。日々、システムに関するトラブル対応や問い合わせが発生し、原因調査や関係者との調整を行いながら、通常業務も並行して進める必要があります。トラブルによっては解決に時間を要することもあります。問題を解決できた時の達成感は大きく、業務を通じて幅広い技術や知識を身につけられる環境にやりがいを感じています。



総務部／総務管理局／情報基盤課
副主査
2023年度入庁

教育の土台をつくる プロフェッショナル

物品購入、校内施設に関する契約、光熱水費等の各種支払いなどの支出業務を担当しています。教育活動が円滑に進むよう、物品購入や契約業務などを通じて教職員をサポートし、限られた予算を有効に活用することを心掛けています。予算管理は大変ですが、物品を購入した時に喜んでもらえたり、購入した機材や木材を生徒が使用している場面を見ると、とてもやりがいを感じます。



学校事務職



和歌山工業高等学校
副主査
2011年度入庁

県内の公共インフラを 予算面から整える

国道・自転車道の補助事業等及び単独事業の予算管理や道路事業の諸調査を担当しています。現在は予算の執行管理を行っていますが、道路は県民の生活に欠かせないものであるため、道路事業の進捗が見えるとやりがいを感じます。また県庁の魅力は仕事だけでなく、部活動や旅行などの休日の楽しみや趣味に費やす時間があり、ライフワークバランスが取りやすい点だと考えています。



県土整備部／道路局／道路建設課
技師
2022年度入庁

土木職



警察事務職

人事業務を通じて 組織体制を整える

警察職員の人事異動や人事記録の整理保管、統計に関する事務を担当しています。人事業務は、字のごとく「人の事」に関わる仕事であることから、取り扱う情報も重要なものが多く、人事異動に関してはその人の人生を左右する業務です。責任重大ですが、人材の育成や組織の育成・整備に関わることができるやりがいのある仕事です。上司や同僚に助けをもらいながら、楽しく仕事することができています。



警察本部／警務部／警務課
係長
2010年度入庁

農業工学職

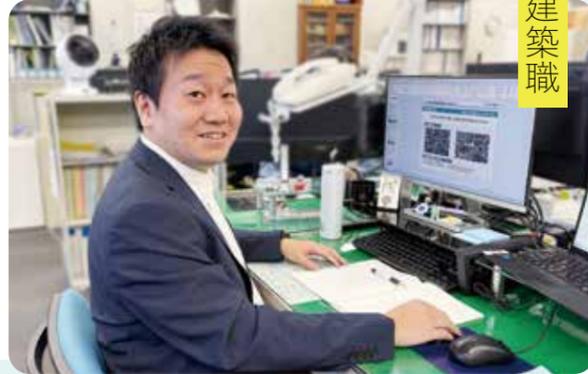
農業基盤を整備し 地域を支える技術者

防災事業、特にため池改修に関する予算管理や国補助事業への予算要求、補助金申請や実績報告などを担当しています。直接住民の方と関わる業務ではなくても、自身の仕事が県民の皆さんの命を守ることに繋がっているのだと考え、責任感とやりがいを感じています。仕事と子育ての両立で忙しい日々ですが、県の子育てに関する制度と職場の皆さんのサポートを受けながら奮闘しています。



農林水産部／農林水産政策局／農業農村整備課
副主査
2018年度入庁

建築職



“にぎわい”のある
まちづくりを支援・推進

市町村が取り組むコンパクトなまちづくりや、地域の魅力や個性を活かした“にぎわい”のあるまちづくりを支援・推進する業務を担当しています。持続可能な都市構造の実現に向けて、地域ごとの課題を把握し、各市町村にとってどのような支援が有効かを日々模索しながら業務に取り組んでいます。「和歌山をこんなまちにしたい」という想いを、仕事を通じて形にできる可能性があるところに、大きな魅力とやりがいを感じています。



県土整備部／都市住宅局／都市政策課
副主査
2017年度入庁

電気職



設備の信頼性を
電気技術で確保する

工業用水道管理センターでは、工業用水を供給するための送水施設の運転監視、ポンプ等の設備や送水管の保守管理や設備の改良の業務をしています。日々の点検や故障等の発生時には、自分たちで対応することもありますので、デスクワークだけでなく現場での業務もあります。職場の雰囲気はよく、仕事をしやすい環境です。複数人で行う業務もあるので、課題に対してはコミュニケーションを取り合って解決しています。



工業用水道管理センター
副主査
2017年度入庁

農学職



農業の発展を
施策面から推し進める

農業用施設整備に係る指導を行ったり、学校給食での県産食材の利用率向上のために県教育委員会と連携しながら業務をしています。和歌山県の農業生産振興を図るための業務に携われることが魅力です。自分が和歌山県の農業を支える一助となれていることが嬉しいです。休日は県庁ソフトボール部の部活動に参加しており、業務外での交流の場として、先輩方と体を動かすことで心身をリフレッシュしています。



農林水産部／農業生産局／果樹園芸課
技師
2023年度入庁

林学職



県の森林資源を守り
環境と産業をつなぐ

県が所有する森林の経営管理を行う業務を担当しています。具体的には利用期を迎えた森林の収穫間伐等を計画及び実施しています。事業の実施にあたっては幅広い知識を要求されるため覚えることが多いので大変ですが、自分が習得した知識や経験を生かし、現場に落とし込むことができ、その結果が正直に表れるのがこの仕事の魅力であり、やりがいのある部分であると感じています。



農林水産部／森林林業局／森林整備課
副主査
2018年度入庁

機械職



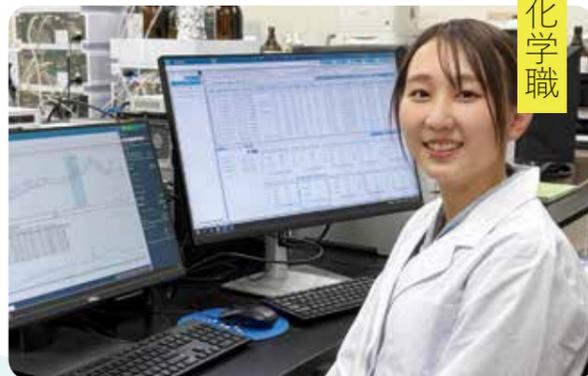
機械設備を管理し
公共サービスを支える

工業用水道管理センターでは、工業用水を供給する施設の維持管理、具体的には送水設備の点検作業や、監視システム上で稼働状況の確認を主にしています。設備の更新が必要になれば、設計を行い工事を発注し、その監理業務も行います。実際に電気設備や機械設備に触れる場面が多く、小規模な故障には自分たちで対応します。設備異常時に原因を解決し、最後正常に機能することが確認できたときの達成感は大きいです。



工業用水道管理センター
技師
2023年度入庁

化学職



化学で守る
環境と県民の健康

水質環境に関する分析業務を担当しています。河川水や地下水、事業所の排水等をサンプリング・分析し、含まれている物質が法令等で定められた基準値を超過していないかなどの確認を行っています。分析技術など新たに学ぶことが多く大変なこともありますが、学んだ分、技術や知識が身につく、さらに広く深く和歌山県の環境に携われるようになることがとても面白く、やりがいにつながっています。



環境衛生研究センター
研究員
2024年度入庁

水産職



許可からスマート化まで
水産の基盤を整える

漁業の許可に関する事務、スマート水産業の推進など、水産業に関する様々な業務を担当しています。中でも「スマート水産業」の推進は先進的で面白い取り組みだと思います。スマート水産業は、新しい分野ですので手探りで進めている部分も多いですが、これまで経験や動に頼っていたものが、最新技術により効率よく作業が進んだり負担を軽減できた時には、新たな分野を知る楽しさや大きなやりがいを感じます。



農林水産部／水産局／資源管理課
主査
2019年度入庁

社会福祉士



関係機関と連携し
家族関係や環境を調整

保護者のいない児童や児童虐待などさまざまな家庭事情により、施設に入所措置となっている児童とその保護者に対して、これまでに起きていた家族の課題について振り返りや、今の家族が持つ強みへのアプローチを家庭訪問や外出等の同行を通して行います。家族の再統合に向けて支援体制の調整をするにあたっては、地域の関係機関との多職種連携がかかせないため、関係者との情報共有、方針のすり合わせを大切にしています。



中央児童相談所
福祉主事
2022年度入庁



心理職員

心理学の視点から
より良い支援を届ける

児童心理司として、子どもやご家族の方々の相談に乗り、心理学の視点から助言を伝えるなどの業務を行っています。また、子どもに対して心理検査や心理療法を行ったりもしており、様々な視点から情報を集めて問題解決に取り組んでいます。この仕事は、子どもやご家族の困り事に直接支援を行えるところにやりがいがあり、少しでも笑顔になってもらえることができるように、日々全力で取り組んでいます。



中央児童相談所
副主査
2021年度入庁



精神保健福祉士

心の課題に寄り添う
精神保健の専門家

メンタルヘルスの保持増進に関する相談支援業務、精神保健福祉推進のための地域づくり・体制整備を担当しています。当事者や相談者の相談に応じるには、知識や経験などをフル活用することが求められます。私自身の感情を揺さぶられることもある業務ですが、当事者や相談者のメンタルヘルス課題の改善・回復を目の当たりにできること、悩みや喜びを共有し共に歩むことが大きなやりがいになっています。



東牟婁振興局／健康福祉部／保健課(新宮保健所)
主査
2020年度入庁



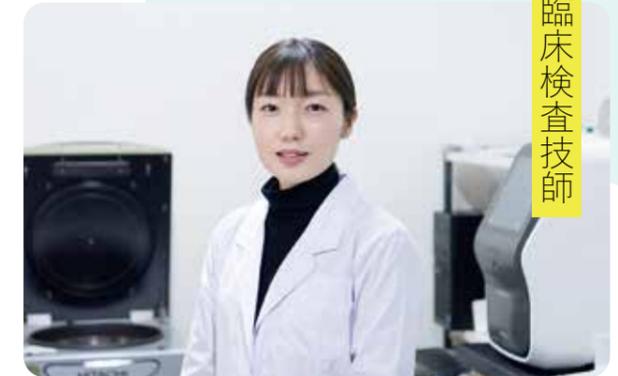
保健師

相談から支援まで
心の健康を地域で守る

心の健康に不安を抱える方や家族からの相談に対応し、医療や福祉、就労などへ繋いだり、自殺予防やアルコール・薬物依存症、ひきこもりなど地域の課題にも関わる業務を担当しています。また、関係機関と連携しながら県民が住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう支援します。支援を通じて本人や家族と共に喜ぶことが、大きなやりがいです。加えて、職場の理解もあり、子育てと仕事を両立しながら働くことができています。



有田振興局／健康福祉部／保健課(湯浅保健所)
保健師
2016年度入庁



臨床検査技師

ウイルス検査の情報が
国の感染症対策の一端を担う

環境衛生研究センターは、県民の健康や地域の環境を守る試験研究機関で、「水質」「大気」「衛生」「微生物」の4つのグループに分かれています。私は微生物グループで、感染症の原因究明や病原体情報収集のためのウイルス検査、その情報発信を行っています。ここで得られた検査結果は国で集計され、病気の流行予測などに活用され、重要な感染症対策の一端を担っています。



環境衛生研究センター
副主査研究員
2012年度入庁



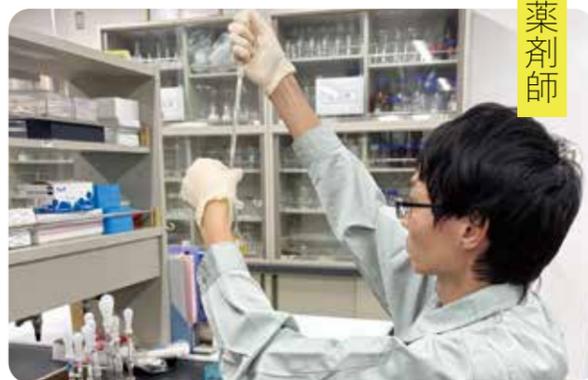
獣医師

病気を未然に防ぎ
家畜と県民を守る

県の家畜保健衛生所が担う業務は、家畜の伝染病予防に関する事務、家畜疾病の診断、飼養衛生管理の指導、家畜診療や人工授精など様々です。家畜伝染病が発生した際には防疫対応に注力することになりますが、平時は畜産農家の方と近い距離で仕事ができます。伝染病のこと、診療のこと、事業のことなど幅広く知識を持ってコミュニケーションをとり、農家さんにとって身近な相談窓口のような存在になれるよう頑張ります。



紀南家畜保健衛生所
副主査
2020年度入庁



薬剤師

医薬の専門家として
企業を支え、品質を守る

県内の医薬品・医薬部外品・化粧品・医療機器業界を対象に、受託試験、受託研究、指導相談、機器貸付などを担当し、県内企業の発展に取り組んでいます。県庁生活では、結婚や育児といったライフステージの変化に応じ、仕事と家庭で優先順位を明確にし、メリハリのある働き方を実践しています。どちらも大変な時期はありますが、限られた時間の中で常にベストを尽くすよう心掛けています。



工業技術センター
副主査研究員
2016年度入庁



船舶職員

違法操業を取り締る
常に自然と向き合い、漁業資源を守る航海士

航海士として漁業取締船の運行・船体整備などの業務だけでなく、漁業監督吏員として漁業指導や取締りをしています。漁業取締りでは、海上や陸上のパトロールはもちろんのこと、通報で現場に駆けつけ、立ち入り検査で相手の船へ乗り込むこともあります。早朝や夜間の取締りなど体力的に大変なところもありますが、漁業秩序の維持や資源保護に貢献できていると感じています。



農林水産部／水産局／資源管理課
副主査航海士
2016年度入庁



栄養士

県民の健康づくりを推進
講習会や立入検査、栄養表示の相談も

県民の健康づくりの推進がメインの仕事です。例えば、働き盛りの人向けの講習会を開催し、「メンタルヘルス」や「糖尿病」など、関心が高そうなテーマや県民の方に知ってほしいテーマを選んで健康づくりの啓発活動を行っています。福祉施設や保育所などの給食施設へ立ち入り検査をしたり、食品の栄養成分表示の確認などの相談を受けることも仕事のひとつです。



海草振興局／健康福祉部／保健課(海南保健所)
副主査
2014年度入庁

給与・待遇

給与

I 種	初任給(給料等の月額(地域手当5%を含む))	大学新卒(一例)		大卒後民間企業等 経験7年(一例)	
	一般行政職、土木職、建築職、学校事務職、警察事務職等	本庁・振興局	247,932	本庁・振興局	290,402
I 種	化学職、農学職、林学職、水産職	試験研究機関	270,471	試験研究機関	326,611
	薬剤師、獣医師 ※大卒時に資格を取得している場合	本庁	260,036	本庁	296,558
		保健所・病院	269,323	保健所・病院	305,846
	保健師 ※大卒時に資格を取得している場合	試験研究機関	294,159	試験研究機関	337,985
本庁		247,932	本庁	290,402	
	保健所等	284,037	保健所等	313,463	
III 種	初任給(給料等の月額(地域手当5%を含む))	高校卒			
		215,688			

(注)・令和7年4月1日採用者の金額
・経歴その他及び勤務公署により給料等の月額は異なります(資格免許の必要な職種は、原則として資格免許取得後の経験年数のみ経歴に換算されます)。

期末・勤勉手当(ボーナス)及び各種手当

期末・勤勉手当(ボーナス)が6月、12月に支給されます(令和7年度実績 計4.65月分)。また、各種手当として、状況に応じて扶養手当、地域手当(3%~5%)、住居手当、通勤手当などが支給されます。

勤務時間(週休2日制)

勤務時間は、原則として月曜日から金曜日の午前9時から午後5時45分まで。完全週休2日制(1週38時間45分)を実施しています。

休暇等

1年につき20日の年次有給休暇(1時間単位で取得可)が付与されます。その他、夏季休暇(5日)、結婚休暇、産前産後休暇、病気休暇等があります。また、育児休業、介護休暇の制度もあります。

働き方改革について

(※知事部局の例)

和歌山県では、職員のライフワークバランスの向上、県民の幸せにつながる仕事の一層の推進を図るために、リモートワークの推進や庁内環境の整備などさまざまな方法で「働き方改革」を進めています。職員一人ひとりが多様な働き方を実現し、業務を効率化することで職場環境の改善を目指します。

フレックスタイム制度

一定の期間内で、勤務時間の総量は同じまま、1日の勤務時間を7時間45分より長くしたり短くしたりできます。1週間に1日を限度に、勤務時間を割り振らない日を設定することも可能です(週休3日も可)。

リモートワーク(在宅勤務制度)の推進

個人に配布されるノートパソコンを利用して、自宅にいながら職場と同じように仕事をすることができます。通勤時間を育児・介護や家事の時間に充てられ、ライフワークバランスの充実を図ることができます。

庁内環境

無線LANの整備により、庁内のさまざまな場所で気軽に打ち合わせができ、ペーパーレス化も進んでいます。また、一部フロアではフリーアドレスを導入し、業務内容などに応じて自由に席を選べる環境を整えています。

出産・育児のサポート制度

和歌山県庁は、産前産後休暇や育児休業をはじめとした出産や子育てを支援する各種制度が充実しています。代替職員の配置に加え、令和7年4月からは育児休業などで休んだ職員の仕事を支えた職員への手当加算制度を導入し、より安心して働き続けられる職場環境を整えています。

配属、仕事内容、昇任、研修とも男女の差はありません。

※所属、役職等は取材当時のものです。



福祉保健部/福祉保健政策局/障害福祉課 班長

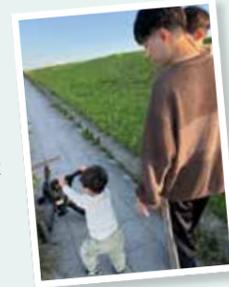
R6.6 妻の出産休暇
R6.6 育児参加休暇
R6.7.1~R6.12.31 育児休業



総務部/総務管理局/管財課 副主査

H30.4.15~H30.8.3 産前産後休暇
H30.8.4~R1.11.7 育児休業
R1.11.8~R2.2.27 産前産後休暇
R2.2.28~R3.3.31 育児休業
R3.4.1~R5.1.10 育児時間休暇
R5.1.11~R5.5.2 産前産後休暇
R5.5.3~R6.4.30 育児休業
R6.5.1~ 育児時間休暇

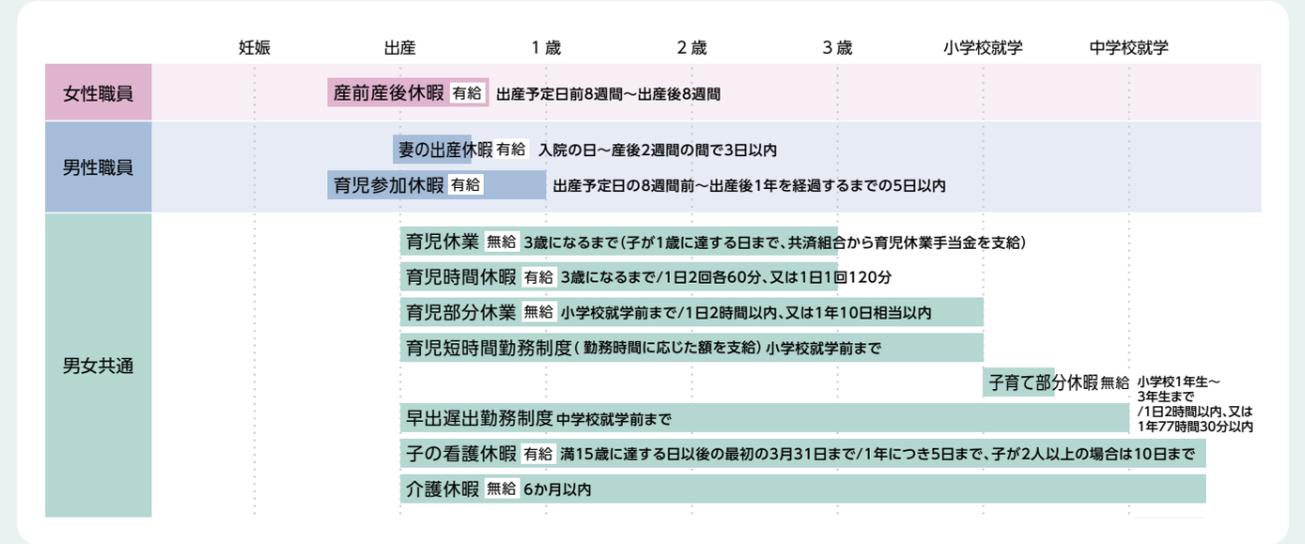
私は、仕事と子育てを両立するために、仕事は定時で終わるように心掛けています。また、育児時間休暇(1日2時間の特別休暇)を活用し、保育園の送迎をするなど、子どもと過ごす時間を確保することも意識しています。仕事と子育ての両立には、職場での理解や家族の協力も欠かせません。周囲に支えられながら、仕事と子育ての両方に向き合えるよう工夫して、可能な範囲で両立を続けています。



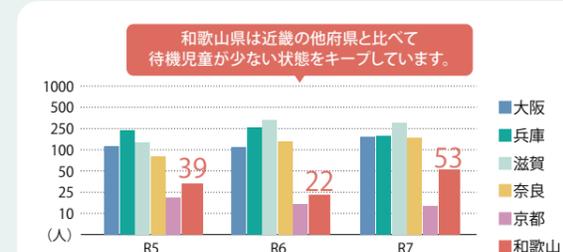
現在、育児時間休暇と在宅勤務制度を併用しています。就業前後に少しの余裕があることで、時間だけでなく心の余裕もでき、子どもとの有意義な時間を確保できています。子どもはあっという間に成長します。一人ひとりの成長を見守るため、今後もライフワークバランスを大切にしながら、仕事と育児を両立したいと思えます。



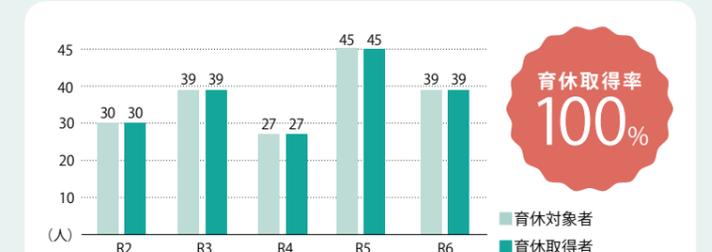
[出産・育児のサポート制度]



[近畿2府4県の待機児童数]



[女性職員の育児休業取得状況]



※制度内容は令和7年12月1日現在の制度です。変更される場合があります。

研修制度

様々な職員研修で、職員のスキルアップをサポートします。

主な職員研修

階層別研修

(新規採用職員研修も含む)



経験年数や役職に応じて求められる能力等を身に付けるため研修を実施します。特に新規採用職員研修は、前期、中期、後期に分けて実施します。

特定分野別研修



「政策形成能力」、「対人能力」など特定分野についての能力を集中的に身に付けるための研修を実施します。

派遣研修



庁内公募を実施し、若手職員を中心に省庁・海外・民間等への派遣研修を実施しています(派遣実績については下表参照)。

派遣研修

一般行政職 商工労働部／企業政策局／成長産業推進課
2019年度入庁

研修先 経済産業省 資源エネルギー庁

研修期間 2年間

※所属等は取材当時のものです。

化石燃料(現在世の中で使われている燃料)や次世代燃料(化石燃料に代わるグリーンな新燃料)の精製・備蓄政策を所管する部署に所属しています。グリーンなジェット燃料である持続可能な航空燃料(SAF)を含む次世代燃料政策を担当しており、政策方針の検討や機運醸成、国会対応や審議会の運営等、県庁では経験することのできない規模の業務に携わっております。

次世代燃料事業を実施・計画している国内外の企業や世界各国の政府等とヒアリングや意見交換も頻繁に行っており、インプット・アウトプットが多く、刺激的かつ楽しい日々を送っています。また、経済産業省は他の中央省庁と比べて、担当者の裁量が大きいので、自分が進めたい政策を実現させやすいことが大きな魅力です。そのため、経済産業省には向上心高く前向きに従事している職員が多いので、仕事の進め方だけでなく、仕事への姿勢も模範にさせてもらっています。

日本の最前線である中央省庁での様々な経験は、今後の行政官人生の中でも大きな糧になると思っています。引き続き、和歌山県経済活性化に裨益できる人材になれるよう、経済産業省で経験を積み、吸収していきたいと思えます。



派遣実績 令和7年度(40名(うち、女性14名))

省庁

- 内閣府
- デジタル庁
- 総務省(2)
- 外務省
- 財務省(2)
- 厚生労働省
- 経済産業省(2)
- 中小企業庁
- 資源エネルギー庁
- 農林水産省(3)
- 国土交通省

海外

- 自治体国際化協会(ロンドン)
- 国際観光振興機構(マドリッド)
- タイ工業省(タイ)
- 中国山東省政府

民間等

- 2025年日本国際博覧会協会(7)
- 地方公共団体情報システム機構(J-LIS)
- 防災科学技術研究所(NIED)
- みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)
- (株)紀陽銀行
- JETRO和歌山事務所
- 関西広域連合(4)

大学等

- 和歌山大学大学院
- 滋賀大学大学院
- 事業構想大学院大学
- 自治大学校

人事異動・昇任／キャリアパス

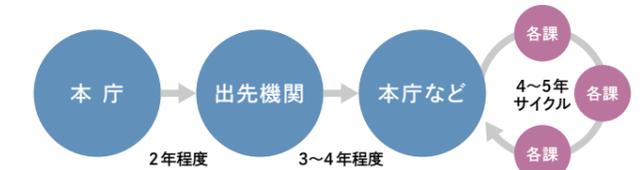
主な配属先

新規採用職員は、本庁又は出先機関、各試験研究機関等に配属されます。1種試験合格者の場合、採用時に本庁に配属された人は2年程度で出先機関の勤務となり、出先機関に配属された人は3~4年で本庁等の勤務となります。その後、平均4~5年サイクルで各課を異動し、さまざまな職場を経験することで、幅広い能力・知識の習得を図っています。また、年に一度希望する勤務先、職務について、申告する機会があります。

※主な配属先は令和7年12月1日現在のものです。組織改正により変更になる場合があります。

[配属と異動の一例]

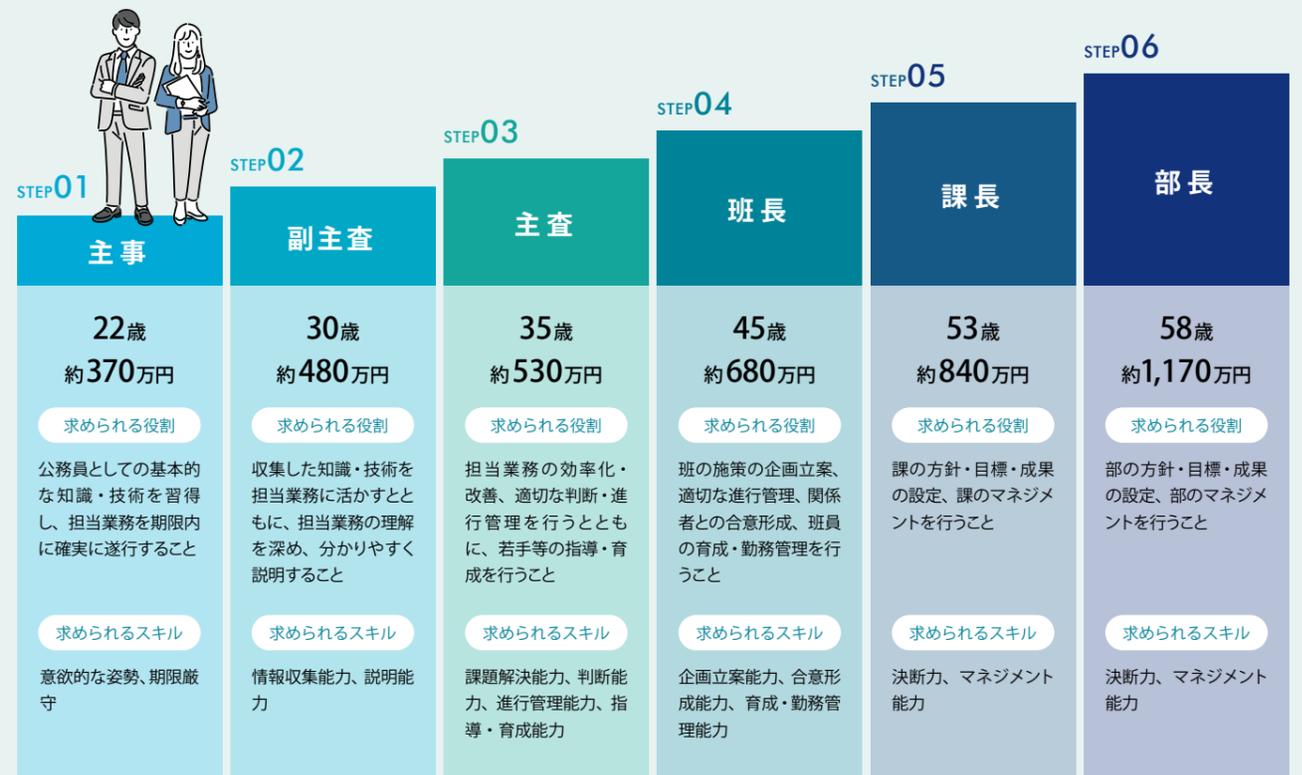
1種試験合格者で、採用時に本庁に配属された場合



昇任について

主な役職は、主査(係長級)、主任(課長補佐級スタッフ)、班長(課長補佐級ライン)、副課長、課長、局長、部長となっています。1種試験合格者で比較的速いペースの昇任は経験年数12年で主査となり、本庁と地方機関で合計7年の主査経験を経て主任になるケースです。昇任試験を実施していないので、昇任は人事評価等を踏まえ、総合的な能力・実績主義に基づいて判定し、やる気・能力のある若手職員の抜てき人事も行っています。

[職員のキャリアパスモデル]



1 本キャリアパスモデルは、令和7年度現在において、大学卒業程度試験(第1種)を受験し、22歳で大学を卒業し入庁した場合のモデルの一例です。
2 年齢による昇進等を保証するものではありません。
3 副課長、局長等の一部の役職は省略しています。
4 年間給与は、給料・地域手当・管理職手当の12ヶ月分及び期末・勤勉手当を合算した金額です。

試験案内の入手方法

和歌山県職員採用情報サイトから印刷できます。 <https://pref-wakayama-recruit.jp/>



インターンシップ等も
実施しています!



●実施日：8月～9月(5日間) ●申込期間：6月中旬～7月中旬

●その他、オープンカンパニー(1日間)等も実施しています。

詳細は、和歌山県職員採用情報サイトの「インターンシップ」に掲載しています。
<https://pref-wakayama-recruit.jp/setumeikai/internship/>



県庁職場ガイドに参加して、 実際の仕事に触れることができます

行政のプロフェッショナルとして、和歌山県職員をめざしている方に県庁を訪問していただき、県の施策や仕事の魅力などについて、県庁の先輩職員が直接お話し、また、県の仕事などに関する皆さんの疑問や質問にお答えします。

● 対象者

和歌山県職員をめざしている方

● 受付期間

参加希望があれば随時受け付けています。

● 訪問日時

申込み受付後、日程調整の上、メール等により連絡します(土・日・祝日及び12/29～1/3を除く)。
なお、同一日に多数の申込者が集中した場合や、その他の事由により、希望に添えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

● 申込方法

「県庁職場ガイド」ページ
<https://pref-wakayama-recruit.jp/setumeikai/guide/>
よりお申し込みください。
ただし、警察事務職は電話のみの受付となります。

● 申込・問い合わせ先

① 一般行政職 及び②③以外の職

〒640-8585 (県庁専用郵便番号のため住所不要)
和歌山県総務部総務管理局
人事課 人材育成班
TEL.073-441-2138 (直通)
✉e0102001@pref.wakayama.lg.jp

② 学校事務職

和歌山県教育委員会事務局
紀北教育事務所
TEL.073-441-3655 (直通)
FAX.073-424-8877
✉e5013001@pref.wakayama.lg.jp

③ 警察事務職

和歌山県警察本部
警務課 採用係
※電話のみの受付となります。
TEL.073-423-0110 (内線2626)
フリーダイヤル:0120-217-314

和歌山県人事委員会事務局 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL.073-432-4111 (内線3763)/TEL.073-441-3763 (直通)

FAX.073-433-4085



和歌山県職員採用情報サイト
<https://pref-wakayama-recruit.jp/>

